

CEDシリーズ(鍵付き) 取扱説明書

◆安全に関する重要な内容です。

ご使用のまえに本取扱説明書を必ずお読みください。本取扱説明書は必ず保管してください。

※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。

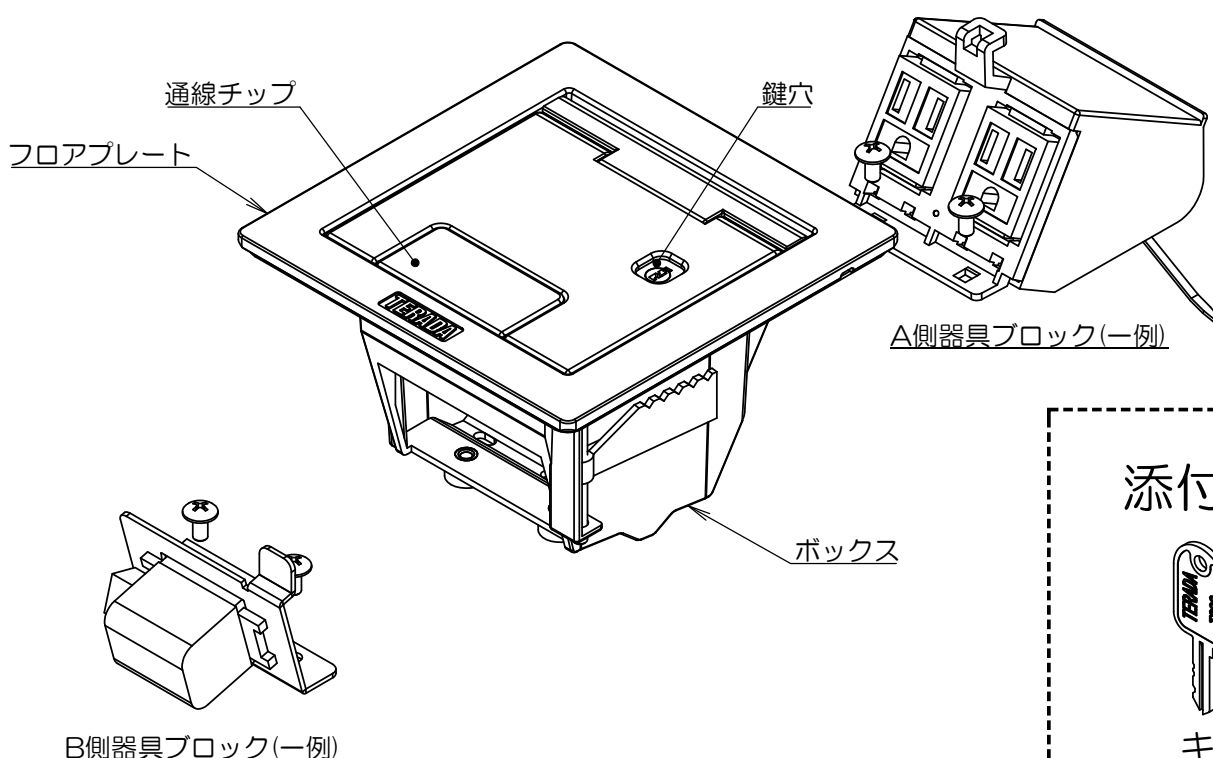
注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。

 警告	
 禁止	◆製品の分解・改造はしないでください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆適合プラグ以外使用しないでください。 ⇒火災・感電の原因となります。
	◆定格電圧・定格電流を守ってご使用ください。 ⇒焼損・火災の原因となります。
	◆重いものを落としたり、ぶつけたり等 強い衝撃を与えないでください。 ⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。
	◆ぬれた手でプラグの抜き差しを 行わないでください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
 必ず守る	◆プラグはコンセントへ確実に挿し込んでください。 ⇒火災・感電・地絡の原因となります。
	◆プラグを抜く際はプラグを持ち、コンセント面 に対して垂直に抜き、コードを引っ張らないで ください。 ⇒コンセントの破損・脱落の原因となります。
	◆コンセントが破損した場合は必ず使用を 中止してください。 ⇒火災・感電の原因となります。

 注意	
 禁止	◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。 ⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。
 必ず守る	◆乾燥した場所でご使用ください。 ⇒機能不備の原因となります。
	◆プレートフタで手をはさまないよう 注意してください。 ⇒けがの原因となります。

保守・点検について	
 必ず守る	◆本製品及び使用プラグは定期的に点検を行ない、 乾いた布などでホコリを取り除いてください。 ⇒焼損・火災の及びプレートの開閉不良の 原因となります。
	◆プレートの表面の汚れは、 固く絞った濡れ雑巾等で拭き取ってください。
	◆本製品が破損・故障した場合は、 速やかに施工工事店へ連絡してください。

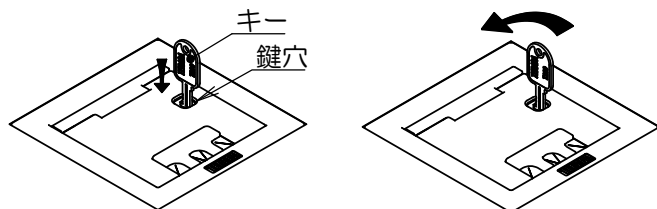
◆部品構成と名称



ご使用方法

1 鍵を開ける

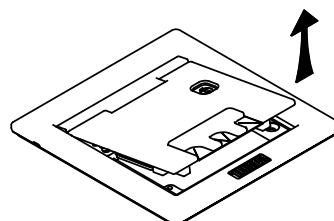
鍵がかかっている場合は、鍵穴に合わせてキーを挿し込み、キーを左に360°回して解錠してください。
※キーは先端6mm程度しか入りませんが問題ありません。



※鍵付き製品の場合、塵、埃により施錠解錠動作が悪くなることがあります。
定期的に鍵穴のメンテナンスを行ってください。
動作改善のために潤滑スプレーをご使用になる際は、鍵穴専用のフッ素系潤滑スプレー以外ご使用にならないでください。

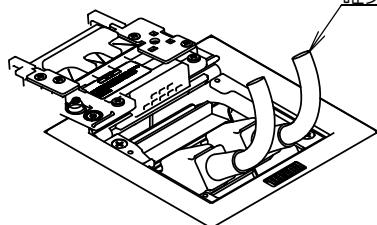
2 プレートフタを開ける

鍵を解除すると図の矢印の方向にプレートフタが開きます。



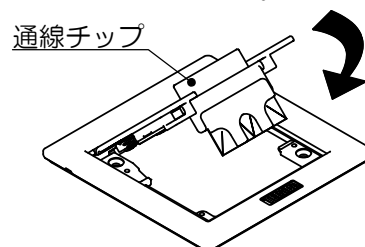
3 プラグの挿し込み

プラグをコンセントに
確実に挿し込んでください。



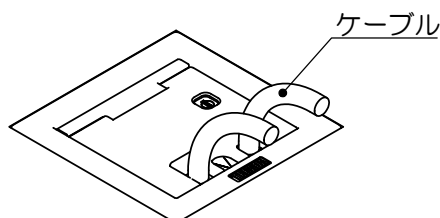
4 通線チップを反転させる

ケーブルの引き出し口となる通線チップを引き出し、反転させ、はめ込んでください。



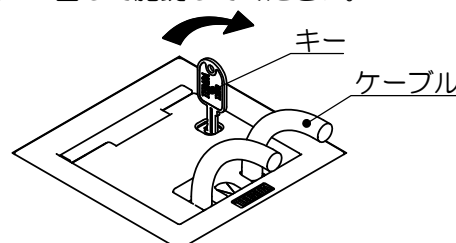
5 プレートフタを閉める

ケーブルを通線チップの切欠き部分に通し、プレートフタを完全に閉めてください。



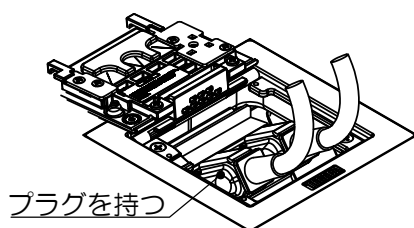
6 鍵を閉める

鍵をかける場合は、鍵穴に合わせてキーを挿し込み、キーを右に360°回して施錠してください。



7 プラグを抜く時の注意点

プラグをコンセント面に対して垂直に抜き、コードは引っ張らないでください。



※フロアプレート使用上の注意点

- ①重い台車等を通させたり、机等の重量物を乗せたりしないでください。
- ②プレートフタは必ず閉じた状態で使用してください。
- ③コンセント未使用時は通線チップを反転させないでください。
- ④通線チップは閉塞状態(1)又は通線状態(4)で必ず使用してください。
- ⑤通線チップやスライドボタンには負荷を掛けないでください。破損の原因になります。
- ⑥プレートフタを開けたまま使用しないでください。プレートフタに踏み転倒する可能性や、ボックス内に足が入り怪我の原因になります。また、プレートフタが開いた状態で荷重が掛かるとプレートフタの破損に繋がります。

■ お問い合わせ先

株式会社TERADA

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361